

# 銀座熊本館 旬館だより - 3月号 -



©2010熊本県くまモン

《発行》2022年3月  
熊本県東京事務所  
くまもとセールス課  
〒104-0061  
東京都中央区銀座5丁目3-16  
銀座熊本館3階  
☎03-3572-5021

## ～～後世まで伝えたい 熊本の伝統工芸品～～

今月は作る人が残り少なくなりつつありますが、引続き後世に残していきたい伝統的工芸品のいくつかを紹介いたします！

### 【1】おばけの金太〔熊本市〕

加藤清正公に仕えた金太という足軽がモデルとされている郷土玩具。真っ赤な顔に黒い烏帽子。紐を引くと下を出し、目の玉がひっくり返っておどけた表情を見せます。竹ばねのからくりで表情が変わりますが、この竹ばねを削り薄く丸めていく行程が難しく、現在では作れる職人が激減。現在は10代目厚賀新八郎さんと息子の新太郎さんのみがこの技を継承しています。

(問)熊本県伝統工芸館 096-324-4930



おばけの金太

### 【2】木葉猿〔玉東町〕

玉名郡玉東町木葉地区で作られている素焼きの人形。約1300年の昔、この地にわび住まいをしていた都の落人が夢のお告げにより神社に奉納する木葉山の赤土を用いた祭器を作り、残った土を捨てたところ、それが猿に化けたという伝説から始まりました。猿は去るに通じ、悪病・災難除け、子孫繁栄などの縁起物として古来より親しまれています。もともとは型を用いず指先で粘土をこね、捻って作り、素焼きした玩具で無彩色でしたが、最近は色を付けたものもあり、さらに猿だけでなく、干支の動物なども作られています。

(問)木の葉猿窯元 0968-85-2052

もっこす猿窯元 0968-85-3353



見ざる  
聞かざる  
言わざる



猿の姿の焼き物“木の葉猿”

### 【3】来民（くたみ）渋うちわ〔山鹿市〕

京都・香川県丸亀とともに日本の三大団扇産地とされてきた山鹿市の来民。約400年の歴史を誇ります。一本の竹を割った骨に和紙を貼り、まだ青い柿から採った柿渋を和紙に塗ることで和紙をより強くし、防虫効果を発揮します。また、年月を経ることにより、色彩がより渋さを増します。町の地名の通り“民が来る”と商売繁盛に縁起の良い団扇です。

(問)有限会社栗川商店 0968-46-2051

【店舗HP】 <http://www.uchiwa.jp>



来民渋うちわ

### 【4】きじ馬・花手箱〔人吉地方〕

800年以上前、球磨地方に逃れた平家の落人が生活のため都の暮らしを懐かしみながら作り始めたと伝えられています。きじ馬は野鳥のキジを模して、木材で胴体を作り、黄・緑・赤の顔料で着色、胴体に車輪と紐を付属させ牽引して遊ぶ玩具です。子どもたちの成長を願う縁起物として古くから親しまれています。花手箱は椗、檜、杉などの板で作った箱で、白で地塗りしたあと、赤と緑で椿の花をあしらっています。きじ馬や花手箱の素朴で美しいデザインは受け継がれ、人吉球磨を代表する土産物となっています。

(問)人吉温泉物産館 0966-22-1123



きじ馬・花手箱

# 今月の市町村！あさぎり町

今月は秋から冬にかけて球磨盆地に発生する朝霧が町名の由来となった熊本県内唯一のひらがな市町村のあさぎり町をピックアップ！

## ◆おかどめ幸福駅 人吉ICから車で30分

北海道の広尾線にあった「幸福駅」が廃止になって久しい現在、日本で唯一“幸福”の名がつく現役の駅です。近隣の岡留熊野座神社が別名「幸福神社」と呼ばれていたことから名づけられました。駅ではくまモン駅長が訪れる皆様を迎え、駅前には幸せを呼ぶ黄色いポストが設置されています。近くにある売店では縁起物の「幸福切符」や町の特産品を販売し、黒豚ハンバーグやコーヒー等が楽しめる飲食コーナーも併設。つい最近ロボット駅長が着任し、近隣の観光スポットを流暢な球磨弁で紹介しています。

(問) くま川鉄道 0966-23-5011 おかどめ幸福駅売店 0966-45-6604

営業時間：〔売店〕08:30~17:00〔ランチ〕11:00~14:00 木曜日休



おかどめ幸福駅

## ◆天子の水(てんしのみず)公園 人吉ICより車で30分

熊本名水百選にも選出されている湧水公園。5月下旬から6月上旬にかけて花菖蒲や紫陽花が一斉に開花します。6月第一日曜日には『花菖蒲まつり』が開催され多くの見物客でにぎわいます。また夜になると無数のホタルが飛び交い、幻想的な光景が見られます。

(問) あさぎり町商工観光課 0966-45-7220



花菖蒲が開花した6月の天子の水公園

あらもびしゃもんどう

## ◆勝福寺荒茂毘沙門堂をはじめとする日本遺産群 あさぎり駅から車で10分

明治時代に廃寺になった荒茂山勝福寺の仁王門が仏堂に改築され、その内部には県内最大の高さ(242.8cm)の木造毘沙門天立像をはじめ3体の国指定重要文化財、5体の県指定重要文化財が安置されています。他にも球磨郡司としてこの地を治めていた豪族須恵氏が造立した須恵阿蘇釈迦堂、相良三十三観音の札所が6カ所あるなど仏の里巡りファンには魅力溢れすぎる町になっています。

(問) あさぎり町教育委員会 0966-45-7226



荒茂山勝福寺

## ◆麓(ふもと)城跡と武家屋敷跡 人吉ICより車で30分

麓城跡はかつてこの地を治めた豪族上村氏の居城跡で球磨エリア屈指の紅葉の名所となっており、例年11月中旬頃が見頃となっています。城手前にある麓馬場通りは上村氏に仕えた家臣たちの武家屋敷の跡。蔵、石垣、水路などがほぼ当時の姿のまま残り、現在に伝えています。

(問) あさぎり町商工観光課 0966-45-7220



紅葉の美しい麓城跡

## お知らせ

### ◆第2回クマコネ交流会 2022年3月5日(土)13:30~14:30

熊本県では、関係人口の拡大を目的として、県外在住の熊本出身者や熊本に縁のある人と熊本をつなげる「熊本コネクションプロジェクト」を展開中です。今年度の第2回クマコネ交流会は、ワーケーションをテーマに、人吉市の「Camping Office osoto Hitoyoshi」からオンライン(Zoom使用)でライブ配信を行います。首都圏で活躍する熊本出身経営者の平野洋一郎氏(アステリア株式会社/代表取締役社長)をゲストに、ワーケーション事業を通して地元熊本に貢献することについてお話しいただきます。定員50名の先着順です。ご視聴を希望される方は、クマコネプロジェクトホームページよりお早めにお申し込みください。

詳細は【クマコネプロジェクト】で検索！

(問) 運営事務局(株式会社談):096-345-2737

銀座熊本館 旬館だより76号



3月5日(土)13:30~14:30 無料 定員50名